

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	城東区
学校名	諏訪小学校
学校長名	康貴利

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・諏訪小学校では、第6学年 119名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語科、算数科、理科ともに平均正答率は、大阪市平均や全国平均を大きく上回った。国語科、算数科は昨年度と比べても大きく正答率が上昇した。（理科は昨年度未実施）子ども・教職員のがんばりが結果によく反映されている。
- ・平均無解答率については、国語・算数ともに大阪市平均や全国平均よりも良い結果となつた。理科については平均よりやや悪い結果となつた。回答困難な問題に対しても、あきらめない姿勢がよく出ている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

すべての領域において大阪市平均を上回ることができた。文章の内容を捉えたり、空欄に適切な言葉を考えて答えるような問題に対する正答率が高い。しかしながら、文章を目的に応じて簡単に書き直すような問題については正答率が若干平均よりも低い。

[算数]

すべての領域で正答率が大阪市平均・全国平均を上回っている。考え方や求め方について理由を、式や言葉を用いて記述する問題についての正答率が高い。しかしながら、数直線の読み取りや、割合の問題については正答率が低い。

[理科]

回路のつなぎ方や顕微鏡の使い方等の知識を問う問題について正答率が大幅に高い。また、実験の方法や理由を表現するような問題についての正答率も高い。しかしながら、電磁石の強さと巻数に関する問題についての正答率は低い。

質問調査より

- ・「朝食を食べる」「決まった時刻に寝る・起きる」の項目に対して肯定的な回答が大阪市平均・全国平均と比べて高い。また、担任の先生に認められているという意識をもつ子どもが多い。

- ・教科に関しては、国語科・算数科・理科ともに、「よくわかる」と考えている児童の割合が多い。しかしながら、それぞれの教科について、「好き」と考えている児童の割合は大阪市平均よりも低い。

今後の取組(アクションプラン)

- ・国語科においては、文章を要約するような活動を意識して取り入れていくようにしたい。自分の意見を書き表したり、文章の内容を捉えたりするような問題の正答率は高いので、継続して取り組んでいきたい。
- ・算数科においては、数直線の読み取りや割合についての学習は、復習するような時間を設定していきたい。自分の考えを図、言葉、式等で表す活動は、これからも継続していきたい。
- ・理科においては、基礎的な知識や技能について定着させる取り組みは今後とも継続していきたい。また、実験方法を考えたり、結果を考察したりするような活動の工夫も継続していきたい。

【 全体の概要 】

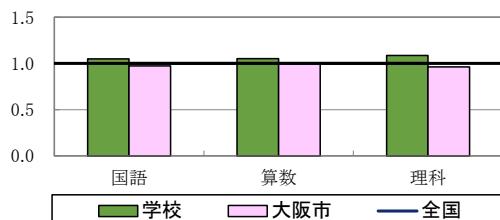
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	70	61	62
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

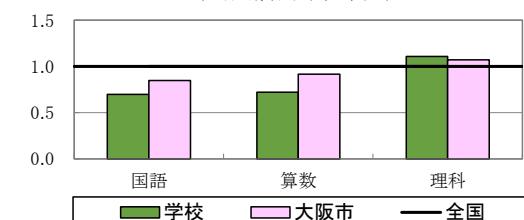
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.3	2.6	3.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



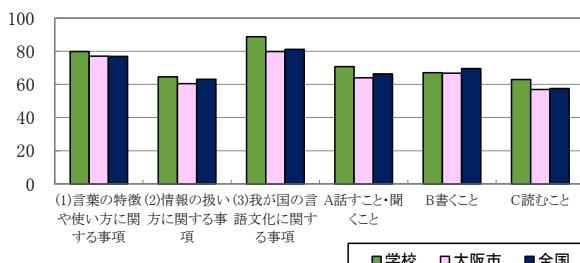
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	79.9	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	64.5	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	88.8	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	70.7	64.0	66.3
B 書くこと	3	67.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	62.9	56.9	57.5

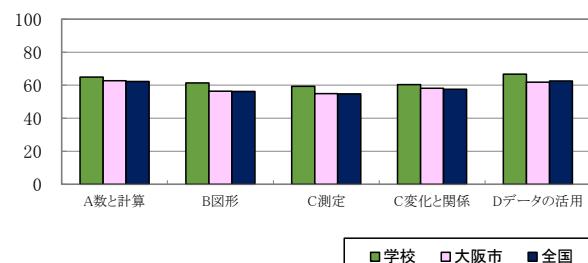
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	65.0	62.7	62.3
B 図形	4	61.4	56.4	56.2
C 測定	2	59.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	60.4	58.2	57.5
D データの活用	5	66.7	61.9	62.6

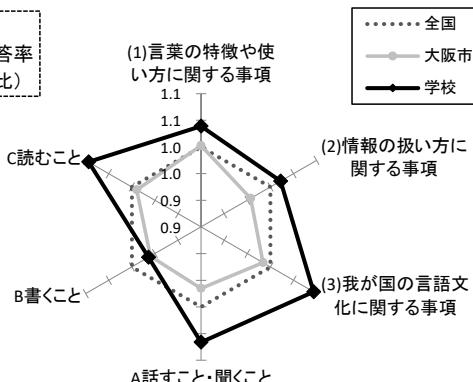
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



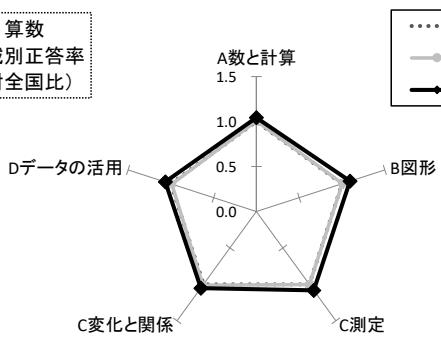
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

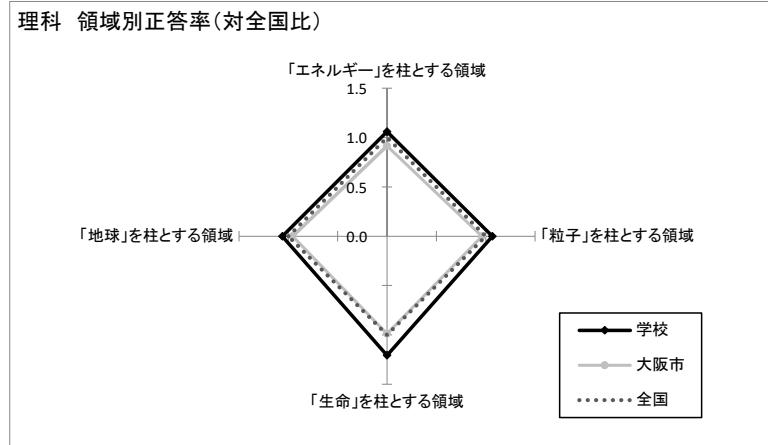
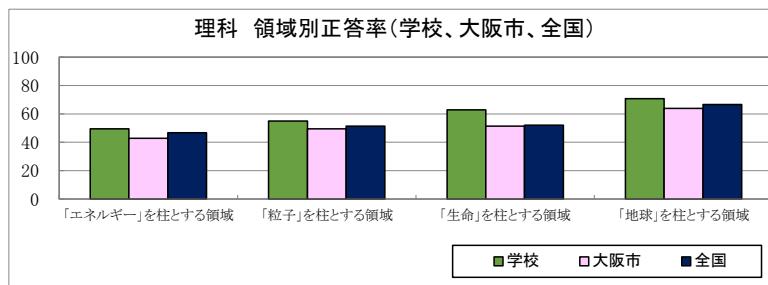


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

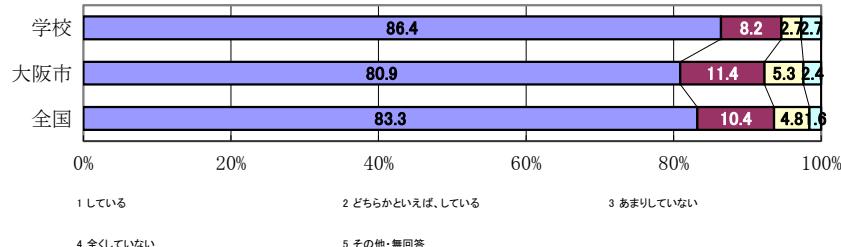
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	49.5	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	54.9	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	62.8	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	70.8	63.8



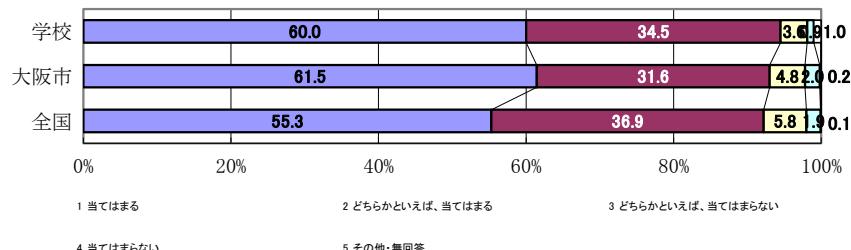
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

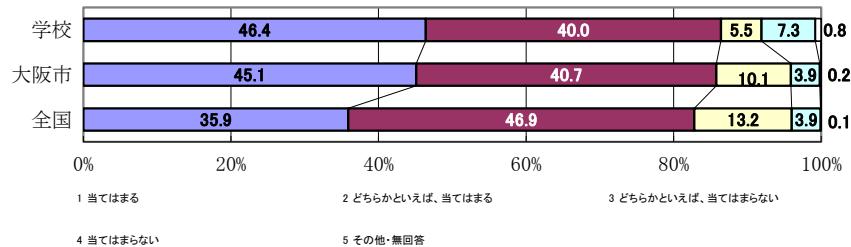
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



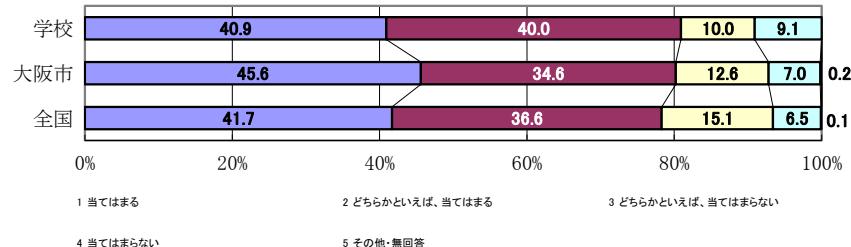
6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



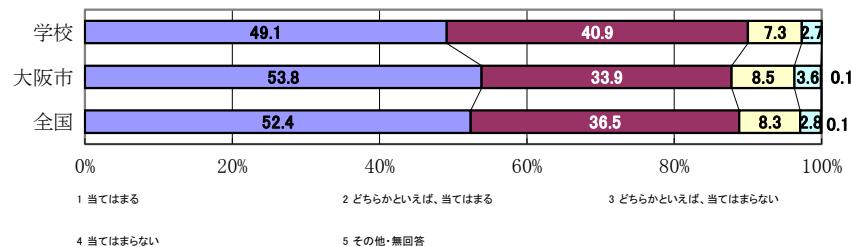
46
国語の授業の内容はよく分かれますか



54
算数の授業の内容はよく分かれますか



62
理科の授業の内容はよく分かれますか



学校質問より

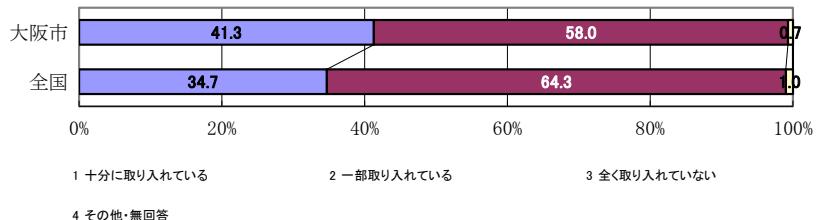
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

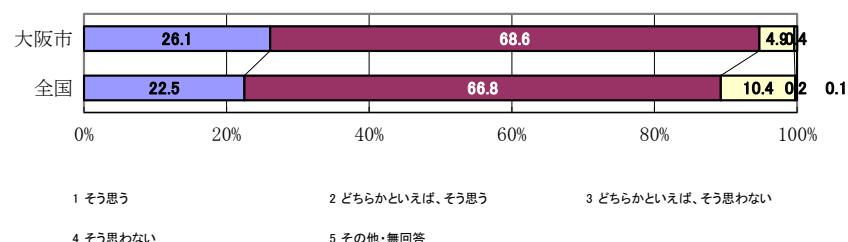
学校 「十分に取り入れている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

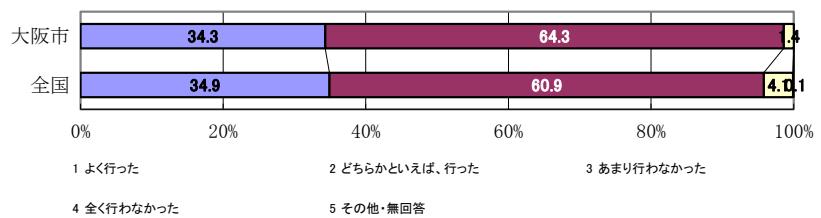
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるよう指導を行いましたか

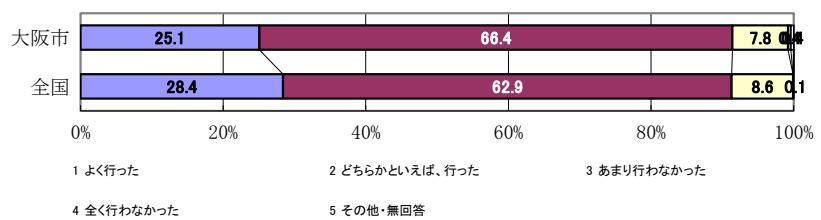
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



45

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



53

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、課題解決の過程における自分や友だちの学びの深まりや疑問に思ったことを振り返ることができるような指導を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

